

大人のための知的好奇心マガジン

2015
APRIL
MAY

アクト・フォー

65

ACT 4

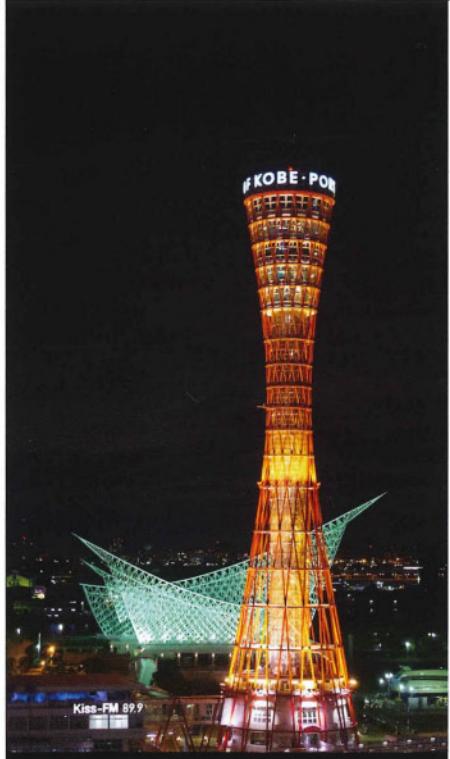
騎士団の夢を追って、マルタを訪ねる

MALTA

The Magic of Baroque

マルタ、バロックの時をかける

第2特集 大名の茶、男の茶会



夜景やディナーに 酔いしれる神戸の夜

ラウンジ&バー「グラン・ブルー」では、クラシックのコンサートやジャズナイトも行われている。ルイ13世といった究極のコニャックもあれば、女性好みのオリジナルカクテルまで取り揃え。旬のフルーツを使ったフュージョンカクテルもある。

また、4月から9月まで海を見渡せる開放的なホテルのテラス席で「ワイン&ビアガーデン」を開催。赤白ワイン、ノンアルコールカクテル15種などの飲み物や、スマートポーションで料理が味わえるプランもお目見えする。



Interview LA SUITE PREMIUM DUO CONCERT

『ウィーンからの贈り物』コンサートより
ルツ・レスコヴィッツ氏と、長谷川美沙さん

ポートタワーを望むラウンジ&バー『グラン・ブルー』。青空に映える景色が刻々と変わり、夕刻からコンサートが行われた。この日の演奏は、『ウィーンからの贈り物』。幻の名器と称えられるストラディバリウスを所有する世界的ヴァイオリニストのルツ・レスコヴィッツ氏と、ホテル所有のヘンリー・Z・ス

タインウェイ記念限定モデルをピアニストの長谷川美沙さんが弾く夢のようなコラボレーションが実現。ショベルトのソナチネ1番、クラシスラーの愛の悲しみ、モーツアルトのきらきら星変奏曲、ベートーベンのピアノソナタ第8番など二部構成で披露。少人数の密接な空間で贅沢なひとときとなつた。

ルツ氏と長谷川さんは旧知の仲。互いに音楽家として、音楽を



人々に届け、幸せにすることが共通意識にあるという。日本人の人柄や文化に尊敬の念を抱き、たびたび来日して、ワークショップやコンサートを行っているルツ氏。また、関西出身でこのホテルで時折、スタインウェイのピアノを披露している長谷川さん。音楽がよく似合う神戸、そして五感の滞在をテーマにしたラ・スイートで再び、二人のジョイントコンサートが開かれることを願いたい。

LA SUITE KOBE

五感で楽しむ 極上のホテルステイ

音楽用語の「ラ・スイート(組曲)」に由来する海辺のホテル。日本に3台しかないヘンリー・Z・スタインウェイのピアノのコンサートを行うなど、音楽や食を通じた体感型の滞在が魅力的だ

text by Hiroko Nakano



総支配人 檜山和司

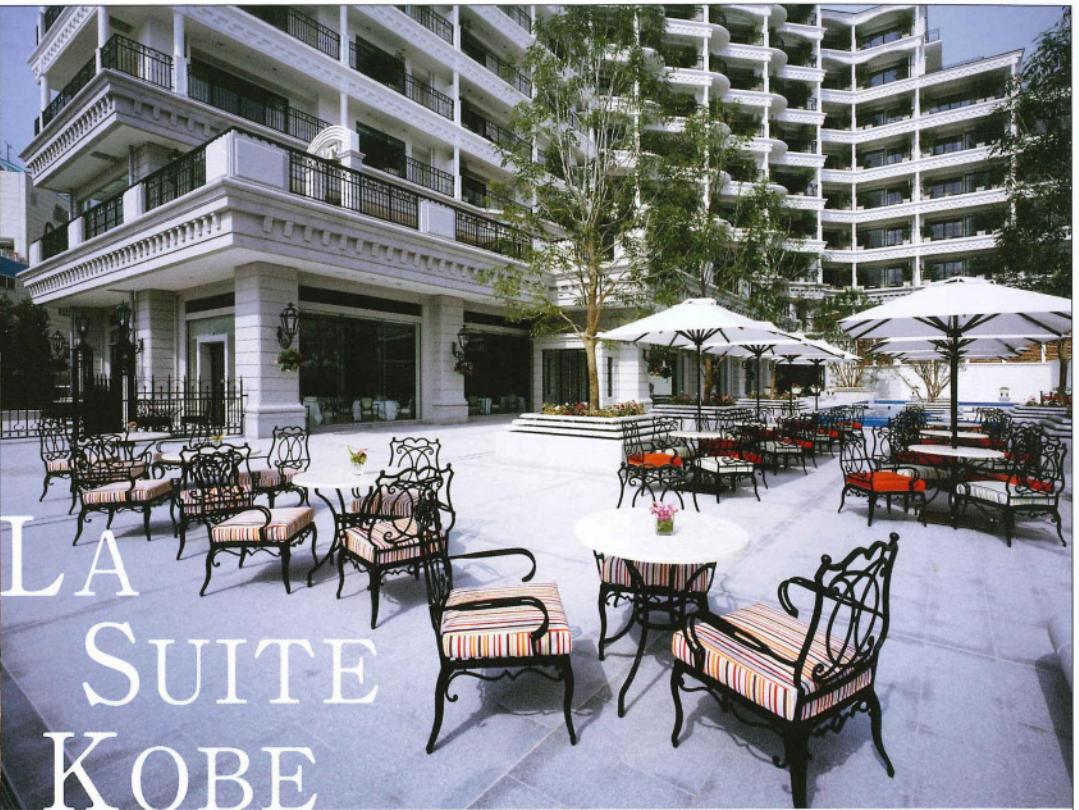
デスティネーションホテル ラ・スイートを目指して

私たちは、神戸のファンを作るという目的を持って、神戸の観光大使のような心構えで務めています。旅の目的としてラ・スイートを目指していただけるよう、スマールラグジュアリーホテルとしての良さを磨いていきたいと思っています。

また、今年はラ・スイートに次ぐ新施設の開業も控えています。源泉掛け流しの天然温泉や、ウォーターフロントの景色を満喫できるラグジュアリーホテルの完成をぜひ楽しみにしていらしてください。



全室 70 m² の広さを誇る、白とマホガニーを基調としたシックでラグジュアリーな客室。ベッドはシモンズ社の最上級ランク、枕や和室のふとんは、西川リビングの特注品を使用。全室オーシャンビューテラスとジャグジー付き。インテリアやリネンに至るまで総合的にコーディネートされた滞在空間が楽しめる。炭酸泉やスチームサウナのあるスパ&エステティック『ラ・シェール』もおすすめ。



LA SUITE KOBE

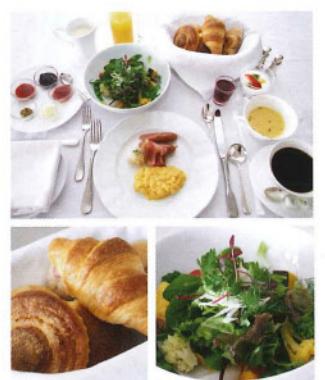


『ラスイート神戸新港第一突堤プロジェクト』

現在開発が進む神戸の新港地区に天然温泉を備えたラグジュアリーホテルと、大規模な国際会議や結婚式にも対応可能なコンベンションホールを備えた、新施設を2015年12月に開業予定。

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド
HOTEL LA SUITE KOBE HARBORLAND
神戸市中央区波止場町7番2号
TEL : 078-371-1111(代表)
<http://www.l-s.jp>

てパティシエ特製スイーツのワゴンサービス「グラン・デセール」もスタート。「お好きな物をお好きなだけどうぞ」と言われる至福の時間が堪能できる。そして、二年連続洋朝食日本一に輝いた朝食も魅力。七種のこだわりベーカリーと、兵庫県の新鮮野菜を淡路玉葱のクリーミーなソースでいただくスープ仕立てのサラダなど、ここでしか味わえない料理との出会いがある。また、総支配人の檜山和司氏は、全日本メートル・ド・テル連盟会長でもあり、オーケストラの指揮者のように、一日組限定で、メートル・ド・テルが料理を切り分ける第二級のカービングディィナーも受けられる。音楽、食、美しい神戸の景色など全てが揃ったホテル滞在を心ゆくまで楽しみたい。^①



どの部屋からも海が見え、開放的なバルコニーから陽光が降り注ぐ「ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド」の朝は清々しい。オールスイート仕様の七〇室は、多くのリピーターたちに愛され、常に好調であるという。

館内の至るところに配された装花、最高のピアノ・スタインウェイの音色、オリジナルアロマ「エレガントローズ」の芳香。花と音楽と香りによるおもてなしをはじめ、その全てが「ラ・スイート(組曲)」を奏でるように設えられている。

食のコンセプトは「地産地消」。フレンチの「ル・クール神戸」、鉄板焼の「心」、ラウンジ＆バー「グラン・ブルー」をはじめ、ラ・スイートの食材は年間を通じて、兵庫県の但馬、丹波、摂津、播磨、淡路を五国のテロワールごとの季節の旬をいただけます。さらに今春からディナーにおいて「ラ・スイート(組曲)」を奏でる



心地良く目覚める、ラ・スイート神戸の朝

海の玄関口という立地を活かし、開発プロジェクトが進む神戸のウォーターフロント。モナコやニースのように、世界のVIPを迎える関西の顔として、今年の変化が見逃せない。